

SS+

11.01
NO.7

2025

軌跡と展望

私たちの現在地

今年、白川設計は創業45周年を迎えました。この節目の年にあたり、本特集では過去10年にわたる成長の軌跡を振り返りながら進行中のプロジェクトや新たな挑戦にも迫ります。設計の現場で奮闘する担当者たちの「リアルな声」白川設計を牽引するリーダーたちの熱い想いを通して、未来へと続く道のりを、ぜひ一緒に辿ってみてください。

白川設計、加速中

P : プロポーザル
C : コンペティション
設 : 設計
監 : 監理
点 : 点検

2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2028 2030

設 監 鶴見小学校

竣工：2017年
構造：RC造 4F
規模：約2,900㎡

児童数増加に伴う校舎増築。屋上にプールを設けることで、グラウンドを広く確保。併せて職員室の増築設計や、内装改修設計、裏庭の造園設計等、総合的な計画を行った。

設 監 三浦市消防本部

竣工：2016年
構造：RC/S造 4F
規模：約2,750㎡

三浦市と横須賀市の消防広域化に伴い、移転統合。高台に建ち三浦市のランドマークになるよう計画した。正面はガラスカーテンウォールにより、特徴的な外装としデジタルサイネージも設置。

P 設 監 美しが丘中学校(武道場)

竣工：2020年
構造：木造 平屋
規模：約600㎡

プロポーザルにて選定された、横浜市初の純木造となる武道場計画。

C 四季美台町内会館

実施：2024年
構造：木造 2F
規模：約200㎡

2024年のコンペティションにて優秀作品として選定。奥にそびえる崖に向かって稜線を描く美しいプロポジション。門型フレームを採用し無柱の集会場を計画。

点 大佛次郎記念館

実施：2025年
構造：RC造

<担当者のコメント (K.K.)>
点検業務では建物の不具合だけでなく、安全性・快適性・使いやすさを総合的に確認し、安心して過ごせる環境を守っています。現場では設計や施工の工夫に気づくことが多く、学びながらスキルを磨けます。普段は入れない有名建築の裏側を見られるのも、この仕事ならではの魅力です。

VRの取り組み 実施：2025年

外部主催のDXセミナーにてVR体験コーナーを企画しました。横浜の建築関係の方に、弊社設計物件をVRで見学いただき、建築業界と最新技術の融合に大盛況の結果となりました。

P 設 六ツ川中学校

構造：RC/S造 2F 設計：2024年～
規模：約600㎡ 中学校体育館増設計画

2024年～、最速昇進を果たした室長を中心にフレッシュな4名が挑む実施設計

P 設 監 本郷中学校

構造：RC造 4F
規模：約6,500㎡

設計：2022年～ 着工：2025年～ 竣工：2029年(予定)

2022年、横浜市初の 中学校建替プロジェクトに 久米設計とJVにて選任

<担当者のコメント (T.O.)>
いよいよ建替工事が本格的に始まります！建設/解体・改修/校庭整備と工事全体の完成まで約4年半の長期にわたる業務で監理者として建物の安全性・品質を守るやりがいのある業務であり、多職種との連携が欠かせません。完成していく様子が目に見える成果として感じられる魅力的な仕事です。JVとして携わる現場で判断力や対応力をさらに磨いていきたいです。

P 設 監 桜岡小学校

設計：2022年～
着工：2025年～
竣工：2030年(予定)
構造：RC造 3F
規模：約7,700㎡

2022年、白川設計 初！ 単独で手掛ける 小学校建替プロジェクト



さくらおかロード イメージパース

P 設 菊名小学校

設計：2021年～
構造：RC造 B1F～3F

2021年、 9,000㎡規模 初！

松田平田設計とJVで、プロポーザルに参加し スケールと挑戦領域が一気に拡大

＼桜岡小の担当者に聞く！／ 設計バックストーリー

～白川設計が挑んだ初の小学校建替～

上大岡駅近くの住宅地にある歴史ある小学校。街中にいながらも自然と触れ合い、子どもたちの豊かな感性を育む校舎と創立110年を超える歴史を未来へつなぐ学校を提案します。

① 設計が白川設計に決まった時の心境は？

「えっ、取れた？ほんとに！？」と驚きました。何度もプロポーザルに挑戦しては悔しい思いをしてきたので、最初は信じられない気持ちでいっぱいでした。今回の案件は、自社単独での学校設計としては初めての挑戦であり、規模としてもこれまでになかった大きなプロジェクト。だからこそ、これまで手がけてきた学校の増設や改修で積み重ねてきた経験をすべて注ぎ込み、全力で提案に臨みました。建替プロポーザルの基本構想段階からこのプロジェクトに関わっていたため、要望にしっかり沿った提案ができたと思います。

② 提案の中で気に入っているところは？

さくらおかロードです。(プロポーザル検討当初、桜岡小とヒストリー、ストリートをかけて「さくらおかヒストリート」という名前をつけていたのですが、紆余曲折あり、最終的にこちらの名前に落ち着きました笑) 桜岡小学校は110年以上の歴史を持つ小学校です。その長い歩みを子どもたちが身近に感じ、自然と興味を持って受け継いでいけるよう、過去の写真や記念品を展示する場所として丁寧に計画しました。日常の中でふと立ち止まり、歴史に触れられるような空間を目指しています。※イメージパース参照

③ 小学生の頃と今の自分を重ねて、設計する際に、意識した点はありますか？

あの頃は、よく校庭でカエルを捕まえたりして夢中で遊んでいました！外での思い出はたくさんあるのに、不思議と校舎の中での記憶はあまり残っていないんです。だからこそ、桜岡小学校は「校舎」そのものが、子どもたちの心に残るような場所にしたいと思っています。

④ このプロジェクトでなにか成長しましたか？

正直、まだわからないことだらけです！毎日が手探りで、目の前のことに必死に取り組んでいるような感覚です。でも、きっと業務が終わったときに、ようやく自分の成長を実感できるのではないかと考えています。このプロジェクトは2030年まで続く予定で、まだまだ道のりは長いですね。

⑤ 設計をする上でなにを大切にしていますか？

一人で頑張りすぎないこと。色んな人を巻き込んで、意見を聞くことが本当に大切だと日々の業務を通して強く感じています！また、自分が納得できるまで作り上げることも設計者として必要だと考えています。いつまでも学ぶ姿勢を忘れずに、これからも前向きに業務に励んでいきたいです！

＼白川設計のリーダーたちに聞く！／ 過去と今。これからの未来！

Q. 過去10年で 白川設計はどのように成長してきましたか？

あの頃は実績づくりに必死だったよね。もっと大きなプロボの参加資格を満たすために、少しずつ実績を積み重ねて、ついに菊名小で3,000㎡の壁を突破！これで大型案件にも挑戦できるようになったね。



白川代表

やっと！やっとでしたね。地方のプロボに挑戦していた時期を経て、今では横浜市の設計を安定して受注できるようになってきました。



設計事業部 齋藤部長

FM(ファシリティ・マネジメント)事業部では少人数ながら年間100件もの点検業務をこなしていた時期もありましたね。思い出深いです。



FM事業部 西山部長

Q. 50周年に向けて、会社をどのように育てていきたいですか？その中で従業員に期待することや、ご自身が仕事をするうえで大切にしていることも教えてください。

従業員がいきたいと第一線で活躍できる会社になりたいです。やっぱり、働くことに誇りを持てる環境って大事ですよね。設計や点検を通じ、クライアントに感動や夢を与えるように頑張っています！



FM事業部 西山部長

それぞれが異なる特性を活かしながら、チームとしてのバランスが整ってきました。「WORK is LIFE」という経験を経て、一人前になれる——その積み重ねが西山部長の言葉に通じるのかもしれません。営業は一瞬が勝負。「白川に頼みたい！」と思ってもらえるよう常に準備を怠らないようにしています。図らずもYSKの理事長に就任し、横浜市の公共建築を守り育てる設計者集団として、YSKがこれまで以上に街のためになる存在となれるよう、広い視野を持って日々奮闘しています。



白川代表

昔ながらの考え方が根付く業界では、成長のチャンスが環境の変化に左右されることもあります。だからこそ、若い人には自分で考え答えを見つける力を身につけてほしい。「何を大切にするか」明確な指針を持つことが重要です。私は、特に公共性の高い建物の設計では、エンドユーザーの視点を重視し、空間の感じ方や使い方を意識して設計しています。



設計事業部 齋藤部長

STEP!UP!HOP!

3つの部署から9人のメンバーにインタビューしました！日々の仕事の中で見つけた気づきや、環境の変化に順応して得た学び。若手からベテランまで、それぞれの視点で語られる“ステップアップ”の一コマをお届けします。この特集が、皆さんのステップアップのきっかけになりますように。

2級建築士 一次突破！

社会人になってから自分に使える時間が減りましたが、スキマ時間をうまく活用して資格勉強に取り組み、無事一次突破できました！

CADソフトに慣れてきた！

仕事では学生時代に慣れ親しんだものとは異なるCADソフトを使用しています。最初は戸惑いでしたが、今ではスムーズに操作できるようになり、さらに効率的な使い方を学びたいと考えています。

学生時代の印象的な設計課題を教えてください

野毛山に現代アート中心の美術館を設計する課題に取り組みました。学生作品の展示スペースや、近くの野毛山公園と親和性のある広場を設け、美術館の敷居を下げる工夫をしました。

チーム連携が円滑でなかったことから、進捗や周囲の状況を把握することの重要性を実感しました。仕事でもその習慣を身につけたいです。

事前のひと工夫で点検をスムーズに！

事前に、複数枚にまたがる点検項目を一枚の平面図にまとめることで、点検に漏れがなく円滑な調査ができるようになってきました。どんな道具が点検に必要なのかも分かってきました。

建具がわかってきた！

建具表の見積から内訳書入力までを担当し、金物の意味や必要性を一つずつ理解できました！今後は、建具表の作成から挑戦してみたいです。

チーム連携のポイント

昇進をきっかけに視野が広がり、仕事を人に任せることの大切さを実感しています。以前は自分で抱え込むことが多かったのですが、チームで動くことで、よりスムーズで質の高い成果につながることを学びました。

限られた時間を味方にする仕事術

打合せが増えたことで、時間管理と優先順位を意識するようになりました。まとまった時間が取れないときは、短時間で処理できるタスクを捌きます。一覧でタスク管理して作業漏れを防ぎ、今週のタスクを明確にし、効率的に進める工夫をしています。

歴史×建築 地域の魅力を引き出す

相模国分寺跡を建築で魅力的にすることをテーマに卒業制作に取り組みました。積極的に郷土資料館に行ったり、地域の歴史イベントに参加したりして、相模国分寺について研究しました。史跡がある敷地に建築を計画することはとても難しかったのですが、最後まで取り組みました。

身体スケールのモジュールで再構成するワンルーム

現代のワンルーム木質アパートは、生活器機を詰め込むことが目的化しています。そこで、尺貫法を見直し、自身の身体寸法を基に生活動作（洗顔・髪を乾かす・寝返りを打つなど）に必要なサイズを3Dブロック化。生活器機とそのスペースを6㎡に集約する設計手法を構築し、狭いワンルームでも、残りの空間を自由に使える住環境を提案しました。

既成概念を疑い、再考する姿勢を大切にしたいです。

後輩の存在が働き方を進化させた

後輩ができてから、前準備や作業の割り振り、質問対応など自分の作業だけに集中していた頃と比べて、一日の過ごし方が大きく変化しました。

実寸空間づくりで学んだチームと進める力

約10人のチームで協力しながら、2×4材を使って、1～2人が入れる小さな空間を「実寸大」でつくった経験が印象に残っています。

子どもが走り回ったり、はしごに座って休憩できるように、居心地の良い空間を目指しました。構造が生み出す光と影が、太陽の動きに合わせて変化する演出にもこだわりました。

もうちょっとやるか。

自分の成長は止まり、むしろ退化しているように感じることもあります。でも、若い人たちが頑張ってる様子を見るともうちょっとやかって気になります。

働く街のスキ！

白川設計が拠点を置く「桜木町」は、働く場としての快適さに加え、日常を豊かにしてくれる街です。仕事の前後に立ち寄れるカフェや文化施設が充実しており、心地よく過ごせます。この街で働くこと自体が、白川設計での日々をより魅力的なものにしてくれます。

- 📍 弊社担当建物
 📍 社員のおすすめエリア
 📍 社員のおすすめグルメ



1 横浜市長公舎 (改修工事) 2013年竣工

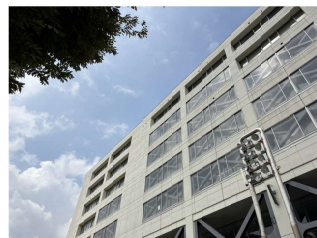
太平洋戦争の被害を免れた西洋建築

横浜・野毛の市長公舎の内装改修に携わり、建設当時の意匠を尊重しつつ、市長の意見を反映しました。各部屋ごとにCGで内装材を検討し、品格と現代性を両立した空間を目指しました。

2 横浜市立 みなと総合高等学校 (耐震補強工事) 2012年竣工

力強さと美しさを兼ね備えた構造美

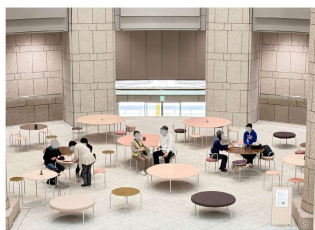
SRC造逆梁構造の校舎にK型ブレースを用いた耐震補強を実施。交通騒音と塩害対策として、既存サッシ外側にブレースを設置し、新設サッシでブレースをサンディッチにすることで、防音性・耐久性を両立しました。本誌の表紙は、同高のペDESTリアンデッキから改修範囲のブレースを見上げた写真です。校舎外観のアクセントになっているブレースは、室内側にも貫通する構成となっており、内外の空間に連続性と一体感をもたらす設計が印象的です。



3 横浜美術館

リニューアルによってできた「まるまるラウンジ」

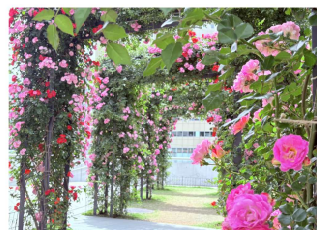
重厚な佇まいの横浜美術館に、やわらかな印象のインテリアデザインのコラボレーション。誰でもアクセスできるエリアなので、美しい館内を鑑賞しながら、リラックスできます。



4 横浜市役所

四季を感じる4つのガーデン

会社から徒歩2分の市役所には、横浜市のシンボルフラワーであるバラをはじめとする様々な草花が植えられています。働く人たちが季節の移り替わりを感じる憩いの場所として賑わっています。



5 うどん がんじん 饅頭頑陣 本店

もち！えび！とり天！贅沢うどん

うどんはコシがありつつも、もちもちとした食感。大きなぷりぷりのエビと揚げたてのもちに、下味がしっかりついたとり天が特別な出汁でマリアージュ！卵は1個無料でトッピングできます。



6 ちゃんまぼう どうふ 陳麻婆豆腐

本場の味を楽しめる

横浜市役所内の本格中華屋さんです。本場四川省の回鍋肉ランチを頂きました。お肉は柔らかく、なによりお肉の油の豊かな味！丁度良い辛さで、とても美味しかったです。



新しい社報名のバックストーリー

今回、社報リニューアルに伴い、親しみを感じられ、より愛される社報を目指し、従業員からコンパ形式で社報名を募りました。投票によって選ばれた社報名は「SS+」(エスエスプラス)です。+ (プラス) には「加える、加わる」という意味の他に「利益、黒字」という意味と「たまる、有利になる」という意味があります。白川設計 (ShirakawaSekkei) のSSに+ (プラス) を加えることで、「これまで培ってきた知識・経験値を更に積み上げて成長すること」、「会社の利益につながる広報誌にしていきたいこと」、「この冊子を読んだ人のためになる媒体とすること」を目指すという意味が込められています。

編集後記

広報推進部会の新人、松元と落合です。一年目の私たちは右も左もわからないまま作成を始めました。創立45周年を迎え、50周年に向けた成長を社内外に発信するため、内容とデザインを一新。会社の歴史や今後の展望をどう伝えるか、インタビューなどを通じて試行錯誤しながら理解を深めました。限られた時間の中で制作は大変でしたが、皆様のご協力のおかげで無事に完成しました。自社の最近の取り組みや仲間の成長をこの機会に振り返るとともに、横浜に拠点を置く白川設計で働く楽しさのひとつとして、会社周辺のおすすめスポットも紹介しています。気軽に楽しみながら読んでいただけたら嬉しいです。



株式会社白川設計
 ■住所 〒231-0012 神奈川県横浜市中区相生町6-104
 TEL: 045-319-4441 (代表)
 ■創立 1980年1月(45周年)
 ■従業員数 18名(2025年11月時点)



横浜健康経営認定2024ロゴ 横浜市 横浜健康経営認定2024認定事業所より引用
https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo/fukushi/kenko-iryo/kankozukuri/kankoyodokuri/life_style/ninsho/kenkoukei2024.html